

第15回だらっと憲法カフェ in

「八事のカフェ ☆紅茶の時間☆」



奥間政則講演 上映会(その1) 国策って何？ ハンセン病編

【場所】 八事のカフェ ☆紅茶の時間☆ ☎ 070-1619-6435 地下鉄八事駅2番出口から徒歩12分

【日時】 2022年1月29日(第5土曜日) 10:00-12:30

【お話】 奥間政則（おくま まさのり）さん

プロフィール: 沖縄県大宜味村在住。1級土木施工管理技士。

1965年 鹿児島県名瀬市(奄美大島)生まれ 戦争体験を記した父の手記や2015年の県民大会の参加、基地反対運動をしている知人の紹介などから基地建設反対運動にかかわるようになる。無関心から関心へと変化した人生のターニングポイントの年。

ご両親が元ハンセン病患者で、国が行った隔離政策で差別を受けてきたことも、国が沖縄に米軍基地を押しつけていることも形は違いますが国策ということで弱者にしわ寄せがくる構図は同じだということをお話し、「ハンセン病差別」と「辺野古基地建設」に抗議している。

工業高校で土木を学び、30年近く現場の責任者として土木工事に携わり、今はその経験を活かして辺野古や高江の現場で、技術的な視点で防衛局の工事の問題点を指摘しながら反対運動にかかわっている。

10:00
主催者あいさつ

2021年12月1日ウィルあいちで奥間政則さんのお話を主催しました。
ハンセン病と辺野古基地について、「国策ということで弱者にしわ寄せがくる構図は同じ」ということを自らの体験を話して頂きました。以下参加者感想です。

10:10
講演会記録上映会

*ハンセン病は聞いたことがあるくらいで差別や国策などで苦しめられていた人たちがいることもしりませんでした。無関心は罪 本当にそうだと思います。

11:30
紅茶タイムで交流

*とつとつと話される奥間さん。私は勝手に中村哲先生を連想しました。現状や歴史については、知っていたこと・知らなかったこと半々です。市民の通報や看護師が断種していたという件、あたかも正しいことのような顔をして悲しみを生むことをやってしまう。市民の通報は、ユダヤ教徒迫害と似ている。同業の私にとっては、他人ごとと思えず、例えば今打っているコロナワクチン、これを進めることは、よいのだろうか…。自問します。

【参加費】 500円 (各自お茶持参をお願いします)

【定員】 10名 (予約下さい)

【主催】 だらっと憲法カフェ

【申込】 フェアトレード・風's 野入店 (土井)

Tel.090-8566-2638 Email. huzu@huzu.jp



「八事のカフェ ☆紅茶の時間☆」は第5土曜日開催の「だらっと憲法カフェ」の場所です。私たち自身の言葉で、何が大切なのか、何が真実なのか、情報を交換しながら学んでいく場所です。